特273
476

大正十四年八月

東京帝室博物館案内　繪畫部

始

特273
476

東京帝室博物館案内　繪畫部　（大正十四年八月）

第二室

（第一函　宋元時代）

千手觀音像	絹本着色一幅	岐阜永保寺藏
觀音像	同	京都天龍寺藏
十六羅漢像	絹本着色屏風一双	埼玉法華經寺藏

永保寺の千手觀音は頭上の十一面以外に頭側に更に二面を附け、焔穗狀の光背を負うて雲中に出現するその形相がまづ本邦通行の千手觀音と異りその持物や衣裳文様等も相違するところ甚だ多いのみならず、總じてその清楚な相貌の中にもおのづから本邦佛畫と趣致を異にする特色が看取せられる。蓋し宋末か元初を下らぬ頃の作である。天龍寺の觀音もまたその頃の畫と思はれるものであるが、描法は前者と全く相違し彼の色彩を主とするに反して是は線描本位の觀がある。殊にその衣裳には一種の蘭葉描ともいふべき肥瘦ある線を

大正
14.9.2
内交

大正
内交

用ひて重疊の狀を强調し殆んど文様を描かない。上部絹が朽損して頭部に補筆あるは惜しむべきである。法華經寺の十六羅漢圖に至つては朽損最も甚しく、その欵識の如きも今殆

十六羅漢像　法華經寺藏

文五
ノ
文門

んど索ね難いが、輪池翁畫譚によれば文化年中には微かながら四明城塘趙瑤筆と讀まれたといふ。趙瑤は支那畫史に傳を逸し其の經歷年代並に知る由もないが、四明は浙江省に在り、その謹厚穩秀な畫風から見ても蓋しまた宋末元初南支那に行はれた羅漢畫の一名匠といふべきであらう。十六圖中十二圖のみが原作で、他の四圖第一尊者は狩野榮信の筆、第二尊者は同ぢく養信の筆、第五尊者第十尊者は筆者を明らかにしないがまた後世の補作である。

（第二函　明　清　時　代）

草書孟浩然詩	張大光筆	絹本墨書一幅	本館藏
草書五言律詩	王建中筆	同	同
行書跋文	何紹基筆	紙本墨書一幅	渡邊溫行藏
行書詩句	林枝春筆	同	本館藏
行書七言絶句	謝道承筆	同	同
行書七言絶句	酒道人筆	同	同
隸書對聯	桂馥筆	紙本墨書双幅	同

行書對聯　王夢樓筆　紙本墨書双幅　本館藏
行書對聯　曾恒德筆　同　同
行書對聯　蔣元益筆　同　同

こゝに陳列するは明季より清朝に亘つての書家文人の筆蹟である。明代に董其昌の流がはやり清初に歐陽詢風が行はれた如く書道にも流風の變遷が少くない。而して斯く近きを學び遠きを慕うた書風の裡にも行筆或は謹厚或は磊落おのづから各自の個性が發揮せられると共に又其間當時の時代風の明らかに相通ふものあるは上掲の書でもその一斑を窺ひ得るに庶幾い。

（第三函　清　時　代）

指頭畫帖　高其佩筆　絹本淡彩一帖　本館藏

鳥獸人物等八圖その最後の圖中にある高其佩指頭畫の落款で知らるゝ如く孰れも指頭を以て畫いたもので、其手法自在を極め筆畫と異つた獨特の趣がある。其佩は指頭畫を以て顯はれた清初の畫家である。

（第四函　清　時　代）

四季花鳥圖　王岡筆　絹本着色一卷　本館藏

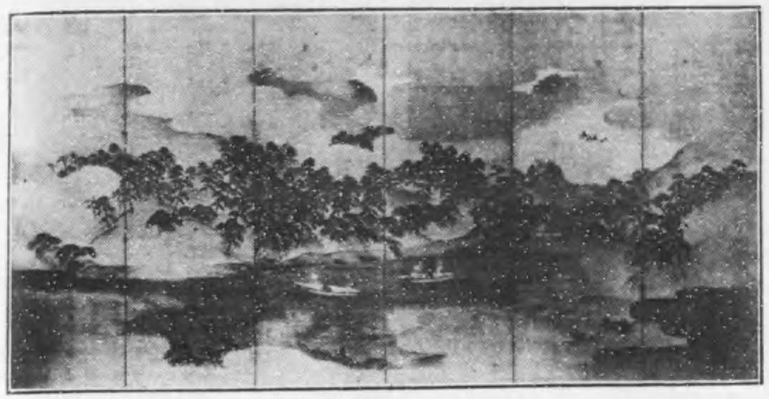
四季花鳥を畫いた卷物で精細な寫實的筆致と穠厚な賦彩と相俟つて全卷絢麗を極めてゐる作者王岡は乾隆頃の畫家で花卉人物を巧みにし、特に花鳥の寫生に於いて著名であつた。本圖の如きはその特色を見るべき好き作例である。

第三室

（第一函　德　川　時　代）

宇治川網代圖　森義章筆　紙本着色一幅　本館藏
大堰川鵜飼圖　同　同　同
花鳥圖　秀好筆　同　同

森義章は景文の門人と知られてゐるが秀好は未だその傳を詳にしない。一は山水一は花鳥いづれも筆彩巧麗四條派の典型と特色とを見るべき作品である。



大堰川鵜飼圖　森義章筆　本館藏

（第二函　明治時代）

地獄極樂圖　河鍋曉齋筆　紙本着色一幅　本館藏

豊干禪師像　同　同　同

河鍋曉齋は名を陳之といひ惺々狂齋と號したが後狂字を曉に改めた。初め歌川國芳に浮世繪を學んだが後には狩野洞白に就いて同派の筆致を會得し、その健腕を振つて好んで大幅をなし世の推賞を博した。本圖何れも運筆縱横形相怪異、彼の特色を窺ふべき大作である。

（第三函　徳川時代）

十二ヶ月歌意畫卷　土佐光起筆　絹本着色二卷　本館藏

花鳥を十二ヶ月に配してそれに歌を添へた繪卷で圖中に土佐左近將監光起筆の落款あるので明らかな如く、徳川時代土佐派の名を擧げて光長光信と共に土佐の三筆といはれた

その人の作として正にその溫麗な畫風を見るべき好箇の例である。歌は鷹司攝政を初め當時の貴顯十二人の筆である。

（第四函　徳川時代）

渡邊綱繪卷　紙本着色一卷　本館藏

渡邊綱が羅城門で鬼の腕をとつた物語を畫いたものである。構圖も筆致も典型化せられた傾向があり、足利時代以後大和繪の繪卷の辿つた道も窺知せられるに庶幾い。この卷に添えた極書によれば土佐一得の筆となつてゐる。一得は又一徳に作り、その傳甚だ詳かならず光吉の門人ともいはれ或は光吉の弟とも傳へられてゐる。

296
126

大正十四年八月五日　印刷
大正十四年八月七日　發行　（定價金五錢）

東京帝室博物館

東京市芝區今入町廿六番地
印刷者　鈴木安二

東京市芝區今入町廿六番地
印刷所　鈴木印刷所

終